

◆ はじめに

住民の皆さん方には、村行政の発展や地域の活性化に対し、ご理解やご協力をいただいているところであり、厚くお礼を申し上げます。

昨今の日本経済や景気の動向をみますと、依然として有効求人倍率は低く、企業収益の悪化など景気の回復が見えない状況下にあります。このような情勢のなかで平成22年度は、国・地方ともに税収は大きく落ち込み、景気対策や雇用対策事業をはじめ新設された子ども手当などの財源不足を借金に頼らざるを得ない厳しいスタートとなりました。

原村の台所事情も依然として厳しい状況ではありますが、中長期的な視点にたつて健全な財政運営を維持しつつ、原村カラーを発揮し、意欲的に地域住民のためにその役割と責任を果たしてまいらなければなりません。安全で住みよい活力に満ちた、原村の実現に向けて全力を傾注する所存ですので、皆さんの益々のご指導、ご鞭撻をお願いします。

つきましては、村の予算の内容をみなさんにお知らせし、理解していただくために、予算説明書「もっと知りたい村の仕事」を昨年に引き続き作成しました。みなさんの税金がどのように使われているのかをお確かめいただくとともに、村の仕事に理解を深めていただければ幸いと存じます。そして、限られた予算のより効果的な実施に向けて、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年5月

原村長 清水 澄

○作成にあたって

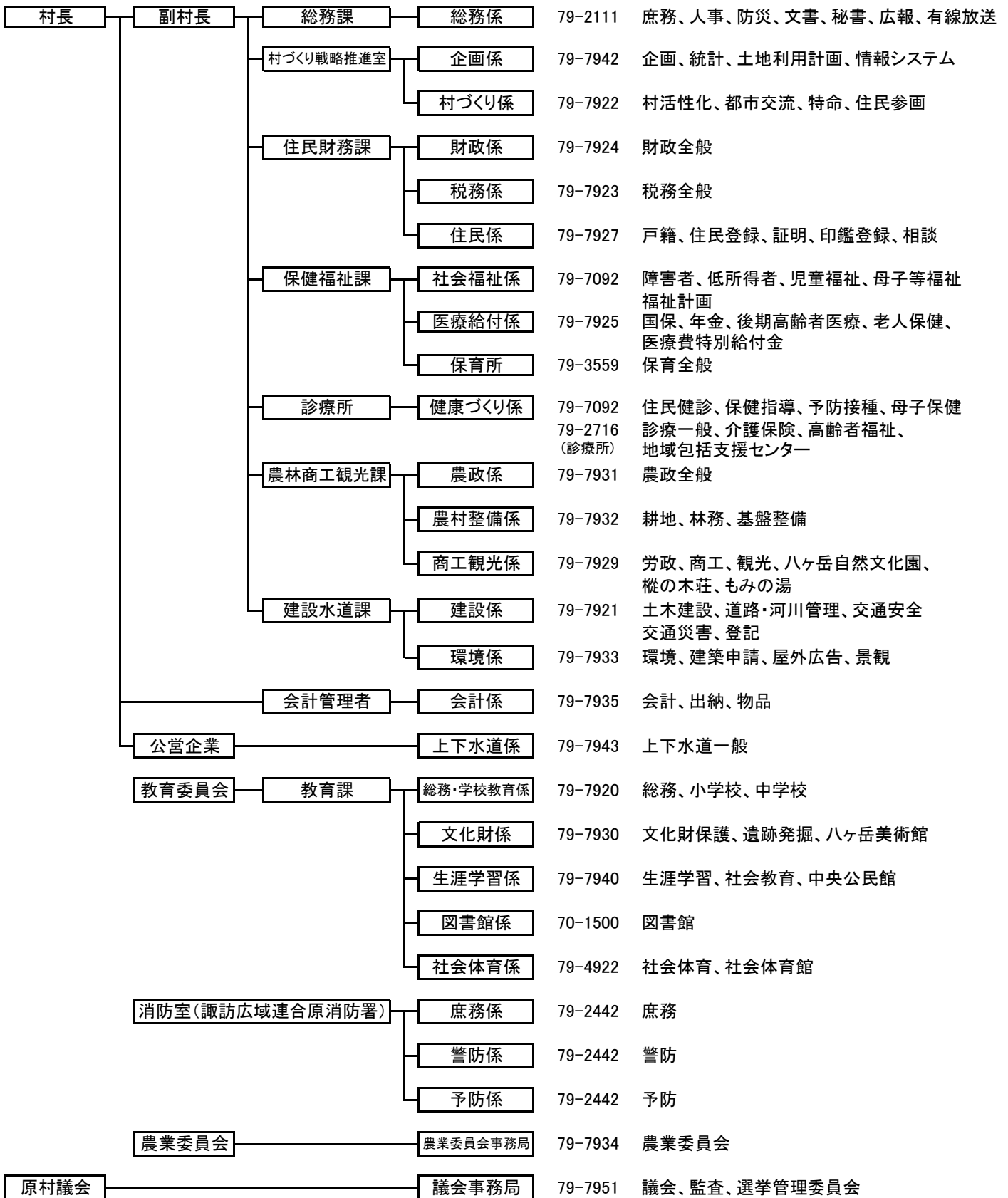
- ◆この予算説明書は、各課からあげられた主な事務事業の内容、予算額などを予算科目にしたがって掲載してあります。
- ◆見出し、または本文に**新**が付いている事業は、平成22年度新規事業です。
- ◆本来予算額は、「千円」を単位として編成されておりますが、分かり易くするために「万円」に調整して掲載しています。したがって、合計などの箇所では不一致が生ずる場合があります。
- ◆職員の給料、手当等は原則として事業費に含めておりません。（予算総額を表示している場合、負担金などに含まれている場合を除く。）

○事業内容や手続きについての照会

- ◆事業について、「もっと具体的な内容を知りたい。」「申請手続きはどうするのか？」などのご要望やご質問がありましたら、遠慮なく担当までご連絡ください。
- ◆補助事業などは、条例や要綱などに定められていますので、詳しくは村のホームページをご覧ください。担当まで照会をお願いします。
- ◆各係における仕事の主な内容及び直通の電話番号は、行政機構図に載せてあります。

原村行政機構図

平成22年4月1日 現在



平成22年度予算における重点施策と予算規模

○重点施策

1 新たな村づくりへの挑戦

- ◇ 次世代を担う児童・生徒の健全なる育成と子育て支援の継続
- ◇ 活力ある村づくりに資する事業の積極的な導入と展開
- ◇ 補助金・交付金等を活用した生活基盤の整備と地域づくりの推進
- ◇ 農業と観光の連携による「原村ブランド」の創出

2 個性豊で活力に満ちた地域社会の実現

- ◇ コミュニティ活動や住民による地域づくりへの支援
- ◇ 移住交流事業の推進と若者定住への支援
- ◇ 友好都市などとの地域間交流の推進

3 安全安心、そして安定した地域社会の確立

- ◇ 大規模地震などに対応した施設整備の実施
- ◇ 地域防災計画に基づく総点検と危機管理体制の強化
- ◇ 地域コミュニティを中心とした安全対策の推進

4 21世紀型行財政システムの構築

- ◇ 電子自治体の推進による住民サービスの向上と事務の効率化
- ◇ 行政評価等による制度・運営の改善
- ◇ 公民協働による村づくりの推進

○各会計の予算規模

会 計 名		予 算 額	対 前 年 比	
一 般 会 計		36 億 1,000 万円	0.8%	
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	8 億 5,200 万円	△2.3%	
	国保直営診療施設会計	7,600 万円	0.0%	
	有線放送事業会計	3,100 万円	△25.3%	
	農業者労働災害共済会計	110 万円	0.0%	
	老人保健会計	18 万円	△83.6%	
	後期高齢者医療会計	6,320 万円	11.5%	
企 業 会 計	水道会計	収益的収入	1 億 5,095 万円	0.0%
		収益的支出	1 億 3,718 万円	△3.2%
		資本的収入	2,400 万円	50.0%
		資本的支出	2 億 5,020 万円	86.7%
	下水道会計	収益的収入	3 億 7,711 万円	△5.2%
		収益的支出	2 億 6,872 万円	△8.5%
		資本的収入	140 万円	△99.3%
		資本的支出	2 億 1,121 万円	△47.0%

○平成 21 年度予算繰越事業及び予算額

事 業 内 容	繰越予算額	内特定財源	一般財源
役場庁舎非常用発電設置工事	1,369 万円	1,200 万円	169 万円
防災情報通信設備整備事業	1,210 万円	981 万円	229 万円
中学校施設改修事業	6,419 万円	5,543 万円	876 万円
小中学校太陽光発電設備設置事業	5,737 万円	5,025 万円	712 万円
子ども手当支給事業	135 万円	135 万円	

目 次

- ◆ はじめに
- ◆ 原村行政機構図
- ◆ 平成22年度予算における重点施策と予算規模

I 議会費		
議会の役割	1
II 総務費		
職員の質的向上	2
行政情報の発信	2
公有財産の管理	2
村有林整備	3
個人情報保護	3
総合計画	3
移住交流	3
消費者行政	4
交通災害共済	4
交流による地域づくり・人づくり	5
活力ある村づくりの推進	7
若者定住対策	9
情報化社会への対応	9
その他の経費	9
原村を支える税金	10
戸籍や住民票の窓口業務	10
選挙事務	11
生活に役立つさまざまな統計調査	12
III 民生費		
障害者（児）を支援する事業	13
地域福祉を推進する取り組み	16
お年寄りに優しい村づくり	17
老後を賄う国民年金	18
地域福祉センターの管理	19
介護保険地域支援事業	20
子供の成長を見守るいろいろな事業	21
健やかな保育のために	22
母子・父子家庭への福祉、罹災者の保護	23
IV 衛生費		
病院・健康づくり活動	25
心と体の健康のために	26
赤ちゃんとお母さんの健康	28
郷土の生活環境	29
墓地整備事業	29
公害・環境対策	29
廃棄物処理	30
V 農林業費		
農業委員会の活動	31
新時代へ対応する原村の農業	31
有害鳥獣対策	33
畜産業の育成と推進	33
次代の担い手育成	33
これからの農村環境	34
森林環境の保全と育成	34

VI 商工費		
商工業の活性化促進	35
観光地としての原村	36
VII 土木費		
道路橋梁管理	39
道路の維持と管理	39
道路の新設改良	40
交通安全への取り組み	41
河川の管理	41
村営住宅の運営	42
VIII 消防費		
消防力の充実	43
緊急時に備える原村の防災対策	44
IX 教育費		
教育委員会の活動	45
健全な児童・生徒の育成	45
教育環境の整備	45
教育の多様性への対応	46
生涯学習の奨励	47
豊かな感受性を育む	49
文化を楽しむ	50
公民館の運営・地区館活動	51
伝統と歴史を知る文化財	52
八ヶ岳美術館の運営	52
図書館の運営	53
健康とスポーツと交流	54
アスリートの育成	56
体育施設の管理	56
X 特別会計・企業会計		
国保事業と医療	57
原村診療所の運営	58
有線放送事業	59
農業者共済事業の運営	59
老人保健事業の役割	60
後期高齢者医療の業務	60
原村のライフライン水道	61
環境衛生を支える下水道事業	63
資料編		
予算の全体像		
1. 一般会計当初予算の推移	65
2. 平成22年度収入の内訳	65
3. 歳出予算（科目別）	66
4. 歳出予算（性質別）	66
5. 村税の内訳	67
6. 特別会計、企業会計当初予算の推移	67
7. 職員給等（一般職）の状況	68
村の預金（基金）	69
村の借金（起債）	69
村の財政状況		
市町村財政比較分析表（20年度普通会計決算）	70
歳出比較分析表（20年度普通会計決算）	72
財政用語集	74